



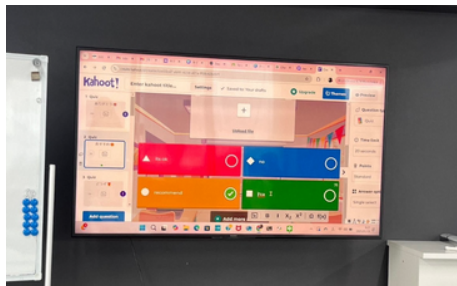
団体：寺子屋バイリンズ

寺子屋バイリンズ

2025
OCTOBER

10

PROJECT AIM 事業目的



現在、育成就労制度などさまざまな理由で日本に移住してきた子供たちの多くは、日本語がうまく話せなかったり、日本の文化に馴染めずにいる。そこで、同じような境遇の子供たちが集まり交流できる場を設け、安心して楽しめるコミュニティを作ることを目指す。具体的には、日本語と英語を使い分けながら基礎的な日本語を学べる活動を行うほか、折り紙やアニメ鑑賞などを通じて、日本の文化に親しめるようなアクティビティを実施する。

ACHIEVEMENT 活動と成果



活動：

一月に一度、三組の参加者と共に「レンタルスペース POPLY」にて教室を開催。宿題補助、スライドを用いた日本語勉強の他、Kahootを使った日本語クイズ、習字、折り紙、輪投げ、宿等のアクティビティを実施した。

成果：

参加者人数自体は少なかったものの、アンケートの満足度評価は高く、また機会があれば参加したいとの声を頂くことができた。

REFLECTION 振り返り課題

結果的に教室は実施できたものの、イベントを通して参加者集めには終始苦労した。原因としては、対象となる人々にイベントの存在を十分に周知できなかったことが大きいと考えられる。改善点としては、①学校へポスター配布を依頼する際にはクラス人数分を用意し、必ず生徒一人ひとりに届くようにすること、②ポスターを英語だけでなく多言語にも対応させること③日本語学校への呼びかをする、以上の二点が挙げられる。

MONTHLY MVP 現状と目標

現在、沼津市周辺の小学校に通う外国人児童は、小学生だけでも100人を超えている。しかし、学校ごとに受け入れの体制を整えるのが難しく、外国人児童への対応が不十分になっているのが問題となりつつある。この企画では、そうした児童が一時的に心を休められる場所になることを目指す。

相関図

